

鹿沼市 花と緑と清流のまちづくり基本計画の 策定にあたって

本市は、横根山や地蔵岳といった山々が連なる山地、黒川沿いの平地、山地と平地の間には丘陵、台地があり、豊かな緑を有しています。また、黒川や大芦川などの清流とともに緑地が形成され、豊富な水資源が市内の豊かな緑を育てています。

この豊かな緑は、環境や生態系を保全するだけでなく、自然景観や田園風景などの美しい景観の形成や市民にうるおいや安らぎを与え、快適な生活環境を形成するうえで欠かせないものとなっております。更に災害時には避難場所にもなります。

本市では、平成14年に「鹿沼市緑の基本計画」を策定し、都市公園の整備や民有緑地の保全、都市の緑化等、市と住民が一体となって、総合的に緑化推進を図ってきました。

しかし、「鹿沼市緑の基本計画」が策定されてから10年以上が経過し、ライフスタイルの変化や環境問題の深刻化等により市内外の状況も変化しています。また、旧鹿沼市と旧粟野町が平成18年に合併したことから、新たな全市域を対象とした「鹿沼市 花と緑と清流のまちづくり基本計画」を策定することとしました。

本計画では、緑のまちづくりのテーマを「みんなでつなぐ緑のまち 鹿沼」として掲げ、主な土地利用の状況から、市内を「市街地ゾーン」、「田園・集落ゾーン」、「森林・自然ゾーン」の3つのゾーンに分けて、ゾーンごとに目標や具体的な施策を示し、その実現に向けて市民・事業者・行政の協働により花と緑と清流のまちづくりを推進していきます。

最後に、本計画の策定に当たり、多くのご意見や貴重なご提言をいただいた皆様に対し、心から感謝を申し上げますとともに、本計画の推進のため、今後とも変わらぬご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



2016年2月

鹿沼市長 佐藤 信